

あきらめないで、進学！

知ってトクする

# 特待生制度と奨学金制度の上手な使い方

## 特待生制度

### 学生の2人に1人が利用している特待生制度

函館大谷短期大学の特待生制度は、全在学生の50%以上が利用。むずかしい学力試験もなく、申し込むことができます。入学金半額の11万円から、入学金と授業料合わせて**52万円を免除**した例も。学生の個性とやる気を重視しているため、より多くの方に安心してご利用いただける制度です。

#### 選考方法

- 面接と書類だけ。学力試験は一切ありません。
- 面接で大事なのは「人柄」「前向きな姿勢」。
- 「学校で何を学びたいか」「高校でどんな事を入れたのか」などを質問します。

#### 申込方法

- 特待生はA～E形式まで。
- 入学金の全額(22万円)または半額、あるいは授業料の一部が免除に。
- 申込書・エントリーカード・推薦書などを提出してください。

## 奨学金制度

### 手続きは意外と簡単！自分にあった奨学金制度を選ぼう

函館大谷学園貸与奨学金の場合、返済期間は学生が卒業した年の10月から**最大で5年60回払い**(1回あたり3.1万円～1.55万円)。

卒業後のお子さんに返済を手伝ってもらうことは、あきらめかけていた進学の夢を叶えてあげられるとともに、学業や就職への意欲を持たせることにもつながります。

#### 申込時期

**入学前** 日本学生支援機構奨学金のみ

- ▶ 4月～6月下旬(第一種・第二種どちらでも)
- ▶ 10月上旬(第二種のみ)
- ▶ 12月中旬(第二種のみ)

**入学後** ▶ 4月

種類	返済義務	金額	審査基準	申請方法
函館大谷短期大学特別奨学金	無	46万5000円/年 2年間 相殺	学力が平均評定値4.0以上 収入が基準額以下(※1)	奨学生願書・源泉徴収票や確定申告(控)の写しを提出
函館大谷学園貸与奨学金	有	93万円～46万5000円/年 2年間 相殺 無利息	収入が基準額以下(※1)	奨学生願書・源泉徴収票や確定申告(控)の写しを提出
日本学生支援機構奨学金	有	第一種 無利息 ×24ヶ月 3万円or5.3万円/月(自宅通) 3万円or6万円/月(自宅外) 第二種 有利息 ×24ヶ月 3万円～12万円/月	第一種: 学力が平均評定値3.5以上 収入が基準額以下(※1) 第二種: 学力が平均水準以上 収入が基準額以下(※2)	奨学生願書・源泉徴収票や確定申告(控)の写し or 申告内容確認票の写しを提出 ※第一種と第二種は併用可

**POINT** 日本学生支援機構奨学金は、入学後もお申し込みいただけますが、定員採用枠が少なく採用されない場合もありますので、高校在学中の**事前予約**をオススメします。初回奨学金の給付は5月のため、入学手続時のお支払いには**学資ローン**が利用でき、奨学金で返済が可能です。

※1 給与所得者: 939万円 給与所得以外: 453万円 (4人世帯の収入・所得の上限額の目安)

※2 給与所得者: 1,191万円 給与所得以外: 705万円 (4人世帯の収入・所得の上限額の目安)

## 特待生制度と奨学金制度利用例

### パターン例 1

#### 奨学金の給付を受けない場合

総額 **208万円**  
(入学金+2年間の授業料)  
特待生Aで入学金22万円を免除!  
=残 **186万円**  
=月あたり約**8万円**の貯蓄  
▶ 支払いは年4回

授業料(入学金別)  
1年4期: 各期 **23万2500円**

※諸経費は別途かかります。

### パターン例 2

#### 特待生A + 日本学生支援機構奨学金 + 函館大谷学園貸与奨学金

総額 **208万円**  
(入学金+2年間の授業料)  
特待生Aで入学金22万円を免除!  
=残 **186万円**

日本学生支援機構奨学金  
**127万2000円の給付**  
(月5万3000円×2年間)  
=残 **58万8000円**

残りを、  
函館大谷学園貸与奨学金で補う  
※希望金額を借り受けることができます。  
**58万8000円の貸与**

※諸経費は別途かかります。

#### 自宅外通学助成費

アパート・下宿で生活している遠地地の学生に、申請により助成金を支給します。月額1万円を2年間

進学のために  
がんばるぞ!

